

作成日 2000/12/19

改定日 2024/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： 強力無臭元液KB
製品コード： 00227-08
供給者の会社名称：無臭元工業株式会社
住所及び電話番号：東京都足立区江北2-8-6 TEL:03-3890-9156
緊急連絡電話番号 (平日昼間)：03-3890-9156
(休日、夜間)：080-3599-4957

e-mail support@mushugen.co.jp

推奨用途：脱臭剤

※分類できない・区分に該当しないは省略

使用上の制限：推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

【物理化学的危険性】

該当しない

【健康に対する有害性】

皮膚腐食性・刺激性：区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分1

皮膚感作性：区分1

【環境に対する有害性】

水生環境有害性 長期(慢性)：区分2

絵表示



注意喚起語：危険

危険有害性情報：皮膚刺激 重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策： 取扱後は、手などよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置： 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
特別な処置が必要である
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

保 管：

廃 棄： 内容物/容器は国際/国/各自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名	含有量 (wt%)
有機酸	
界面活性剤	
pH調整剤	
香料	
消泡剤	

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動させ、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合： 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使ってよく洗い流す。

眼に入った場合： 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、専門医の手当を受ける。

飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄する。コップ1～2杯の水を飲ませ、直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、水スプレー

使ってはならない消火剤：特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置：作業の際には必ず保護具を着用する。

環境に対する注意事項：特になし

封じ込め及び浄化の方法・機材：

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：皮膚からの吸収、眼との接触を避けるため、保護具を着用する。作業終了後、身体、手、口、眼、顔をよく洗うこと。

安全取扱い注意事項：手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後にうがいをし、手、顔等をよく洗う。作業服に付着した場合はその汚れをよく洗い落とす。
酸化剤、還元剤、塩基との混合、接触を避ける。

保管

保管条件：直射日光を避け、密栓して冷暗所に保存する。

容器包装材料：特になし

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

呼吸用保護具：必要に応じて着用

手の保護具：ゴム手袋

眼・顔面の保護具：ガラス又は透明樹脂ゴーグル型

皮膚及び身体の保護具：保護衣、ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
色：	無色透明
臭い：	香料臭
pH：	3.3±1.0(20℃)
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点および沸騰範囲：	データなし
引火点：	なし
爆発下限界及び爆発上限界・可燃限界：	なし
蒸気圧：	データなし
相対ガス密度：	データなし
密度(比重)：	1.04±0.05(20℃)
溶解度：	水に任意溶解
n-オクタノール／水分分配係数：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
可燃性：	データなし
動粘性率：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： データなし
化学安定性： 常温、常圧で安定

危険有害反応可能性： 自己反応性なし。
避けるべき条件： 火気、高温物との接触を避ける。
混触危険物質： 酸化剤、還元剤、塩基、金属との接触は避ける。
危険有害な分解生成物： 通常条件ではなし
その他： 鉄、銅、アルミ等の金属に対し弱い腐食性有り。

11. 有害性情報

急性毒性： 経口：製品として（推定値）区分に該当しない

皮膚腐食性・刺激性： 製品として（推定値）区分2

眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性： 製品として（推定値）区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性： 製品として（推定値）区分1

生殖細胞変異原性： データなし

発がん性： データなし
生殖毒性： データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： データなし

誤えん有害性： データなし

12. 環境影響情報

生態毒性： 水生環境有害性
短期（急性）：分類される成分の区分、含量から推定し、区分3とした。

残留性、分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壌中の移動性： データなし

オゾン層への有害影響： 特になし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に事業所系廃棄物又は産業廃棄物として処理する。

汚染容器及び包装： 同上

14. 輸送上の注意

国連番号： データなし

品名： データなし

国連分類： データなし

容器等級： データなし

国内規制： 「15. 適応法令」を遵守すること

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法
(P R T R制度) 該当なし

毒劇物取扱法： 該当なし

労働安全衛生法： 該当なし

化学物質の審査及び製造等の規制による法律

優先評価化学物質：フェノール（官報公示整理番号62），デカン-1-オール（官報公示整理番号2-217），3a, 4, 5, 6, 7, 7a-ヘキサヒドロ-1H-4, 7-メタノインデン-5-イル=アセタート（官報公示整理番号4-658），3-（1, 3-ベンゾジオキソール-5-イル）-2-メチルプロパナール（官報公示整理番号5-3560），安息香酸ベンジル（官報公示整理番号3-1389），4, 6, 6, 7, 8, 8-ヘキサメチル-1, 3, 4, 6, 7, 8-ヘキサヒドロシクロペンタ [g] イソクロメン（官報公示整理番号5-683），ヘキシル=2-ヒドロキシベンゾアート（官報公示整理番号3-1585），3-（4-tert-ブチルフェニル）-2-メチルプロパナール（官報公示整理番号3-2667）

その他：

16. その他の情報

この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。

記載内容の問い合わせ先 無臭元工業株式会社 東京都足立区江北2-8-6
TEL 03-3890-9156

引用文献

- 1) JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- 2) Chemwatch (Chemwatch 分類委員会独自評価による化学物質データベース)
- 3) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)

更新履歴:

- 2013/09/04 『9. 物理的及び化学的性質』の「比重」を変更。
- 2015/07/01 『15. 適用法令』労働安全衛生法の更新。
- 2015/07/01 『2. 危険有害性の要約』区分等を変更。
- 2016/05/20 補足情報の追加
- 2016/05/20 『2. 危険有害性の要約』の区分等を変更。
- 2022/04/01 JIS Z7252/7253改正に伴い、項目および記載内容の変更。
- 2022/11/07 配合原料データの更新による改訂
- 2024/04/01 労働安全衛生法の改正に伴い更新

補足事項:

弊社安全データシート(以下SDS)は、使用する原料のSDSおよびNITEなどの公開情報に基づき危険有害性等の区分を規定している為、製品によっては、長期飲用による影響など、通常の使用用途ではあり得ない特殊条件下での有害性情報も含まれます。そのため、本SDS内に規定する使用用途を逸脱した特殊条件下における情報を含む場合には、補足としてNITEなどが公開する分類根拠等の情報を合わせて提示致します。本SDS内容と合わせてご参照下さい。

※エタノールの発がん性 区分について

エタノールはACGIHでA3に分類されている (ACGIH (7th, 2012))。また、IARC (2010) では、アルコール飲料の発がん性について多くの疫学データから十分な証拠があることなどから、アルコール飲料に含まれるエタノールの摂取により、エタノール及び主代謝物であるアセトアルデヒドが食道などに悪性腫瘍を誘発することが明らかにされているため、区分1Aに分類する。

※エタノールの生殖毒性 区分について

ヒトでは出生前にエタノール摂取すると新生児に胎児性アルコール症候群と称される先天性の奇形を生じることが知られている。これらはヒトに対するエタノールの生殖毒性を示す確かな証拠と考えられるため、区分1Aとした。なお、胎児性アルコール症候群は妊娠中に大量かつ慢性的にアルコールを飲んだアルコール依存症の女性と関連している。産業的な経口、経皮、吸入ばく露による胎児性アルコール症候群の報告はない。(一部抜粋)

※その他参考文献

一般社団法人 日本化学物質安全・情報センター 初期評価プロファイル
<http://jetoc.or.jp/safe/doc/J64-17-5.pdf> (工業化学物質としての使用に焦点が置かれた評価)